

安達太良山雪山 山行報告書

(山域) 安達太良山

(コース) 12月19日(土) あだたら高原スキー場～くろがね小屋～安達太良山～くろがね小屋泊
12月20日(日) くろがね小屋～あだたら高原スキー場

(日時) 12月19日(土曜日)～12月20日(日曜日)

(天候) 曇りのち、時々晴れ

(参加者) CL: 内堀(記録)・岸野・佐藤・富樫富・時田

(山行タイム) 12月19日 スキー場 10:10～勢至平 11:25～くろがね小屋 12:00/13:10～
山頂 14:20～くろがね小屋 15:45

12月20日 くろがね小屋 8:10～スキー場 9:45

(山行報告)

前夜狩野さんから体調不良(発熱・下痢症状)から不参加となり、くろがね小屋には連絡してキャンセル料は掛からなかった。急遽配車を変更して佐藤宅・岸野宅で時田さんを拾い、富樫宅に向かい、全員揃った所で、常磐道 柏 IC から常磐道・磐越道・東北道と進み、二本松 IC で降りて、岳温泉のコンビニで買い物を済ませ、あだたら高原スキー場に到着した。

早朝まで行った降雪機と雪でスキー場は営業していた。但し、雪の量は3年連続で同じ時期に来ているが一番少なかった。駐車場で山の準備を済ませ出発開始する。空は青空が見えるが安達太良山付近は雲の中にある。また、雲の動きが早く稜線では強風がある事が伺えた。

スキー場脇の登山道を進み、橋を渡ると馬車道と旧道に分かれる。旧道を進む、馬車道と旧道は何回か交差しながら進むと勢至平に到着する。ここまで来ると樹林帯は背が低くなり、場所に依っては強風をまともに受ける場所があるため、強風を避け休憩を取る。その先はなだらかな道で山を巻くように進むと、温泉の臭いがするとそこは、くろがね小屋である。



小屋の中で昼食と、荷物(夕食分と大量のお酒、日本酒4合2本・ワイン3本・ビール2本)を小屋の隅に置き、アイゼンを装着して出発する。この日は雪の量も少なく、冬型天気で溶けた雪も凍り、わかんを止めアイゼンとした。今年は雪が少なく登り口が判り易く岩のペンキが見えていたので、容易に登山口を拾う事が出来た。くろがね小屋が見えなくなる頃には時折来る突風に悩まされながら少しずつ前進すると峰が辻が見え始める。去年はこの手前でタイムオーバーした事を思いながら峰が辻に来た時には、安達太良山が良く見え始める。馬の背ルートは突風の影響があるので、直登コースを選び一旦少し下降して、トラバース気味に安達太良山左側に向かい進む。途中、場所によってはバーン状態になっており慎重に進む。乳首手前の安達太良山に到着した。乳首手前は吹き溜まりで足を捕らわれながら、登ると岩場に来ると雪は少なる、鎖場を抜け半周しながら登ると、山頂があり祠がエビの尻尾状態になっていた。急いで写真を撮り下山開始する。途中、喋りながら進んだおかげで、峰が辻の先の分岐点でルートを間違え勢至平方面に向かってしまう。景色が違うため慌てて戻りくろがね小屋方面ルートに辿りつく。10分程度のロス発生。





帰りは順調に進み、難なくくろがね小屋に到着した。15:45頃。ヤレヤレようやく登れました。小屋で宿泊手配を済ませ、部屋に入り温泉に浸かった。運動後の温泉は気持ちが良い物である。本日既に目的の山は登った事から、食事と宴会だけである。本日のディナーは、サラダ・ピクルス・ポトフ・アヒージョである。何となく洒落た食べ物ばかりである。これは酒が進みそうである。案の定、ビールから始まり、日本酒・ワイン・日本酒と進み持参した酒を飲みつくしてしまった。その時、小屋の管理人から消灯ですよ、早めに片づけてくださいと何時もの通り、言われてしまった。慌てて片付けして部屋に登り（3Fだよ最後はハシゴで登る）一人、布団の上で倒れている人発見、布団を引いている間、トイレに行きスッキリしたようで、就寝していた。



翌朝は何回かで、目を覚まし丁度5:30頃で寝られず、起きてしまった。片付けボートしていると朝食時間になり、小屋の朝食を頂いた。今回は夕食は自炊として、朝食は小屋食とした。本日山に登らないので、8:00頃の出発としたため、小屋の食堂から山頂に向けて出発グループを見送る。大半の人間は危険地帯のガス方面に向かってしまう。何人かは小屋脇から上がって行った。小屋の管理人も慌てて、その道を柵で行けないようにしていた。時間も来たことで、出発準備を済ませ外に出ると、山頂付近は雲に覆われていて、風も昨日同様強風が吹いているな。昨日登っておいて良かったなと思う。小屋に別れを告げ下山を開始する。山を巻くとくろがね小屋が見えなくなり、空は曇りの間から青空が見え、雲の動きが早い。風が強く早く抜きたいと思いながら進むと、勢至平を過ぎて馬車道と旧道分岐で風の影響がなくなる。この頃になると、早朝出発の登山者がドンドン上がって来ている。風が心配だなと思いながら挨拶をして、空を見ると雲の動きが穏やかになっている。また、空も曇りから全面青空に変わっており、本日早朝出発組はラッキーであるな。小屋発組は少し残念である。風の影響を受けたな。スキー場に来ると山頂手前で怪我人発生したとの通報があり、レスキューがスキー向かった由。本日、クラブツーリズム等のグループがいたので、怪我が出たのかなと思いながら、岳温泉に浸かり、岳温泉で有名なソースかつ丼の店屋に入った。「成駒」佐藤さん情報から入りました。

分厚ソースにカラッと揚げた衣とソースがマッチして、今まで食べたソースかつ丼の中で一番かなと思うほど、美味しい物であった。完食しました。次の機会はヒレに調整したいね。
食事が終わるころ、レスキューの車がサイレンを鳴らし岳温泉から降りて行った。2時間後である。

今回は風があるものの視界は良く問題なく山頂に行けたことは嬉しい限りである。3年越しです。
また、小屋の夕食から自炊にしたおかげで、美味しく、酒が進む宴会となった。
くろがね小屋は2ヶ月前からの予約であれば、休日も宿泊出来ることが判った。
雪山足慣らしとしては丁度良い山行であった事は間違いなさそうである。

以上